

2019 年度

K I P P 対人関係精神分析セミナー

ご あ い さ つ

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より KIPP 対人関係精神分析セミナーに温かなご支援とご理解をいただき、厚く御礼を申し上げます。今年度で本セミナーは16年目を迎えました。これまで本セミナーを支えてきてくださった参加者の皆様、そして講師の先生方に感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、今年度のセミナーは、鑪幹八郎先生と松本寿弥先生によって翻訳された『クリニカル・エリクソン』出版記念セミナーから始まります。エリクソンの発達論は、人間発達の基礎理論として世界的に有名ですが、その臨床については公にされてきませんでした。著書と本講義を通じて、理論の背景にあるエリクソンの精神分析に基づいた臨床的態度を理解する貴重な機会となるでしょう。さらに、鈴木健一先生と小池哲子先生により翻訳された『夢のフロンティア』の臨床セミナーが続きます。ホワイト研究所のアナリストであるブレッシュナー先生による、対人関係学派の夢分析の視点、ユングや神経学といった夢に関する膨大な知識と経験をベースにした渾身の著作です。夢の世界の持つ魅力に惹きこまれ、読み手のイメージが活性化されることは、クライアントの夢を多面的に理解する際の大きな助けとなるでしょう。

秋からの KIPP セミナーでは、「関係論的発達論」をテーマに4回の講義を行います。精神分析的な心理療法においてクライアントの発達史の多面的かつ理論的理解はセラピーの中核となる部分です。発達史をどのように聞くか、どのように理解をして見立てにつなげるか、といった点を様々な角度から集中的に検討します。そしてそれは、関係性を紡ぐことが難しいクライアントとのセラピーにどのように役立てることができるかという点にまで触れていきます。一連のセミナーは、皆様の明日からの臨床にダイレクトに生かすことができる学びとなるでしょう。本セミナーの特徴は、講師と参加者が対人関係精神分析的な相互交流を体験的に学び、日常の言葉で立体的な議論を重ねることで、実践力向上の機会を提供することです。是非この機会をご活用いただければ幸いです。

本セミナーでの学びが、複雑で、時に困難な日々の臨床現場に寄与することを願っております。多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお待ち申し上げます。なお、本セミナーは臨床心理士の研修ポイントとして申請する予定です。

一般社団法人 京都精神分析心理療法研究所

所長 横井 公一

研修委員会：伊藤未青 岡村香織 森真治 山岡亜里紗 小山恵 山下美穂

2019年度
KIPPセミナー「関係論的発達論」

日程	時間	講師	講義テーマ
① 2019年 6月23日(日) 会場:キャンパスプラザ京都	講義	鑪 幹八郎 (対話者:松本寿弥)	『臨床的・エリクソン』 出版記念セミナー
	事例検討		
② 2019年 7月28日(日) 会場:京都テルサ	講義	鈴木 健一 (対話者:小池哲子)	対人関係学派の夢分析を学ぼう
	事例検討		
③ 2019年 9月29日(日) 会場:未定	講義	河崎 佳子	人の心の成り立ち
	事例検討		
④ 2019年 12月22日(日) 会場:未定	講義	川畑 直人 山本 雅美	難しいクライアントと関係性を作る
	事例検討		
⑤ 2020年 1月26日(日) 会場:未定	講義	岡野 憲一郎	発達論から見た解離
	事例検討		
⑥ 2020年 2月23日(日) 会場:未定	講義	吾妻 壮	精神分析的セラピーにおける 発達論的観点について
	事例検討		

講義	昼食	事例検討
10:30～13:00	13:00～14:00	14:00～16:30

※第4回は講義時間内で2名の講師が担当します。

【講義内容】

第 1 回 2019 年 6 月 23 日(日)

『クリニカル・エリクソン』出版記念セミナー

講師 鑪 幹八郎

対話者 松本 寿弥

シュライン著『クリニカル・エリクソン』の翻訳を誠信書房より、2018 年 11 月に出版した。長年待たれていた待望の著書である。待たれていたという意味は、エリクソンの著書は 1950 年に出版された『幼児期と社会』以降、ほとんどすべてが翻訳されている。しかし、エリクソンの臨床的な姿勢やどのように臨床的に動いたかという点については、著書に散見することが出来るのみであった。今回、この著書が出版されて、エリクソンが実際に臨床的にクライアントに接した姿が、初めて実際の資料として示された。エリクソンに関心をもつ臨床家は、子どもの臨床家、成人の臨床家を問わず必読の書である。今回は出版を記念して、著書の内容を紹介し、またエリクソンの臨床的態度について検討し、学びたいと考えている。

★参考テキスト

S. シュライン／鑪幹八郎・松本寿弥訳（2018）『クリニカル・エリクソン』誠信書房

第 2 回 2019 年 7 月 28 日(日)

「対人関係学派の夢分析を学ぼう」

講師 鈴木 健一

対話者 小池 哲子

対人関係学派の夢分析の歴史を概観し、2001 年に出版されたブレッシュナー先生の「夢のフロンティア (Dream Frontier)」を紹介します。この本では、対人関係学派ならではの分析方法もあれば、ユングや神経学にも言及されており、出版から 18 年が経過した現在でも学ぶことの多い基本の書となっています。セミナーではみなさんと一緒にブレッシュナー先生が見ようとしている夢のフロンティアを冒険してみたいと思っています。

【ブレッシュナー博士の紹介】ニューヨーク市在住の精神分析家・心理学博士。ホワイト研究所のトレーニングアナリストでスーパーヴァイザー。また、研究所の HIV 臨床部門を設立し、2001 年まで運営した。最初期の AIDS 患者・家族の支援者でもある。Contemporary Psychoanalysis 元編集長。コロンビア大学、エール大学、ニューヨーク大学でも教鞭をとった。近著に『The Mindbrain and Dream』がある。博士はフロイトの『夢判断』を精神分析学の礎石を築いた業績と高く評価しながらも、その還元主義的傾向に対峙し『夢のフロンティア』で夢の創発性を様々な角度から検討した。

★参考テキスト

M. ブレッシュナー／鈴木健一・小池哲子訳（2018）『夢のフロンティアー夢・思考・言語の二元論を超えてー』ナカニシヤ出版

第 3 回 2019 年 9 月 29 日(日)

「人の心の成り立ち」

講師 河崎 佳子

不就学ろう青年との 10 年余りにわたる面接の経過を報告し、ことばをもたなかったクライアントとどのようにかかわりながら体験を共有し、生い立ちを繋げる作業を重ねていったかをお伝えします。“独りぼっち”で体制化されていた青年の心が、関係性の芽を育み、それを内在化していったプロセスを辿ることで、聴覚障害という特殊なケースとしてだけでなく、「心の風景を探求する」という作業における「共感」「受容」「転移」「逆転移」「象徴的理解」など、あらゆる面接に通じるテーマを扱ってみたいと思います。

★参考テキスト

岡本夏木・山上雅子編著(2000)『意味の形成と発達』ミネルヴァ書房

第 4 回 2019 年 12 月 22 日(日)

「難しいクライアントと関係性を作る」

講師 川畑 直人

現在では、精神分析において、関係性という概念は、自明のごとく用いられている。しかし、そもそも関係性とは何かと問うと、不明な点が多い。私たちがクライアントとの間で構築する関係性とは何なのか、その多面的な性質について、発達論、精神病理論、社会・組織論の次元から検討してみたい。その上で、統合失調症、発達障害、境界例、非行・犯罪など、心理臨床の現場で出会うさまざまな難しいクライアントとの関係性について考えてみたい。

講師 山本 雅美

分析家がしばしば難しいと感じるクライアントの行動について、Feiner(1982)は、3つのカテゴリーをあげている。それは空想や抽象を用いることができない具体性 *concreteness*、外的現実が否認されるために喚起される不快感 *obnoxiousness*、そしてクライアントが何かを秘めていてどこか不在の手の届かなさ *being hard to reach* である。このようなクライアントの難しさはセラピストに混乱、困惑、無能感、怒りなどさまざまな反応を生じる。これらの逆転移反応をセラピストとして持たざるものとして扱うのではなく、クライアント支援のためにどのように活用できるのか転移—逆転移の効用について考える。

★参考テキスト

・Feiner, A. (1982) Comments on the Difficult Patient. *Contemporary Psychoanalysis*, 18(3), 397-411.

第 5 回 2020 年 1 月 26 日(日)

「発達論から見た解離」

講 師 岡野 憲一郎

解離性障害は、それが慢性的かつ深刻な経過をたどる場合には幼少期の様々なストレスが関係していることが多い。従来は明白な虐待が解離の病理と関係付けられてきたが、近年は愛着関係が成立する段階でのトラウマ（愛着トラウマ）も重視されるようになってきている。本講義では解離と発達論との関係について幅広く捉えなおす機会にしたい。

★参考テキスト

岡野憲一郎著（2007）『解離性障害』岩崎学術出版社

岡野憲一郎著（2011）『続解離性障害』岩崎学術出版社

岡野憲一郎著（2015）『解離新時代』岩崎学術出版社

第 6 回 2020 年 2 月 23 日(日)

「精神分析的セラピーにおける発達論的観点について」

講 師 吾妻 壮

精神分析的セラピーにおいて、発達論的観点は大変重要である。患者の発達歴をよく知ることの臨床的重要性はもちろんのこと、理論的にも、発達論は精神分析的アプローチの骨子である。しかし立ち止まって考えてみると、現在の問題に対処するのに過去に遡ることの必要性は決して自明ではない。本セミナーでは、そもそもなぜ発達論が登場する必要があるのか、そしてその意義はどこにあるのかということについて考えてみたい。その上で、その方法について概観することを考えている。

★参考テキスト

吾妻壮著（2018）『精神分析的アプローチの理解と実践—アセスメントから介入の技術まで』岩崎学術出版社

講師紹介

吾妻 壮 Agatsuma, Soh

精神科医・精神分析家・日本精神分析協会正会員・国際精神分析協会正会員

所属：上智大学総合人間科学部

著書：『精神分析的アプローチの理解と実践—アセスメントから介入の技術まで』（岩崎学術出版社）

『精神分析における関係性理論』（誠信書房）／『臨床場面での自己開示と倫理—関係精神分析の展開』共著

『関係精神分析入門』共著（岩崎学術出版社）

訳書：P.M. ブロンバーグ『関係するところ』（誠信書房）／J.リア『開かれた心』（里文社）

B. ビービー他『乳児研究から大人の精神療法へ—間主観性さまざま』（岩崎学術出版社）

川畑 直人 Kawabata, Naoto

臨床心理士・教育学博士・WAWI 精神分析家・WAWI 児童青年心理療法家

所属：京都文教大学／一般社団法人京都精神分析心理療法研究所／（有）ケーアイピーピー

著書：『臨床心理学』共著（培風館）

訳書：S. ビューチュラー『精神分析臨床を生きる』監訳／F. パイン『欲動・自我・対象・自己』監訳（いずれも創元社）

河崎 佳子 Kawasaki, Yoshiko

臨床心理士・教育学博士

所属：神戸大学人間発達環境学研究科

著書：『きこえない子の心・ことば・家族』（明石書店）／『聴覚障害者の心理臨床 2』共編著（日本評論社）

訳書：F. パイン『発達理論と臨床過程』共訳（岩崎学術出版社）／F. パイン『欲動・自我・対象・自己』共訳（創元社）

小池 哲子 Koike, Tetsuko

精神科医

所属：小池メンタルクリニック院長

訳書：M. ブレッシュナー『夢のフロンティア—夢・思考・言語の二元論を超えて—』（ナカニシヤ出版）

松本 寿弥 Matsumoto, Hisaya

臨床心理士

所属：名古屋大学学生支援センター

岡野 憲一郎 Okano, Kenichiro

精神科医・臨床心理士

所属：京都大学大学院

著書：『外傷性精神障害』／『解離性障害』／『治療的柔構造』／『脳から見た心』（いずれも岩崎学術出版社）他多数

鈴木 健一 Suzuki, Kenichi

臨床心理士・心理学博士・WAWI 精神分析家

所属：名古屋大学学生支援センター

訳書：S. ビューチュラー『精神分析臨床を生きる—対人関係学派からみた価値の問題—』（創元社）

M. ブレッシュナー『夢のフロンティア—夢・思考・言語の二元論を超えて—』（ナカニシヤ出版）

鐘 幹八郎 Tatara, Mikihiro

臨床心理士・教育学博士・WAWI 精神分析家

所属：ふたばの里精神分析研究室室長／広島大学名誉教授／京都文教大学名誉教授

著書：著作集『第1巻 アイデンティティとライフサイクル論』／『第2巻 精神分析と心理臨床』／『第3巻 心理臨床と倫理・スーパーヴィジョン』／『第4巻 映像・イメージと心理療法』（ナカニシヤ出版）他

訳書：H. S. サリヴァン『精神医学は対人関係論である』共訳（みすず書房）他多数

山本 雅美 Yamamoto, Masami

臨床心理士・NY州精神分析家・WAWI 精神分析家・WAWI 児童青年心理療法家

所属：武蔵境心理相談室

会場案内

キャンパスプラザ京都 (JR・近鉄・地下鉄各線京都駅より徒歩約5分)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル 【Tel】 075-353-9111

YIC 京都工科自動車大学校 (JR・近鉄・地下鉄各線京都駅より徒歩約5分)

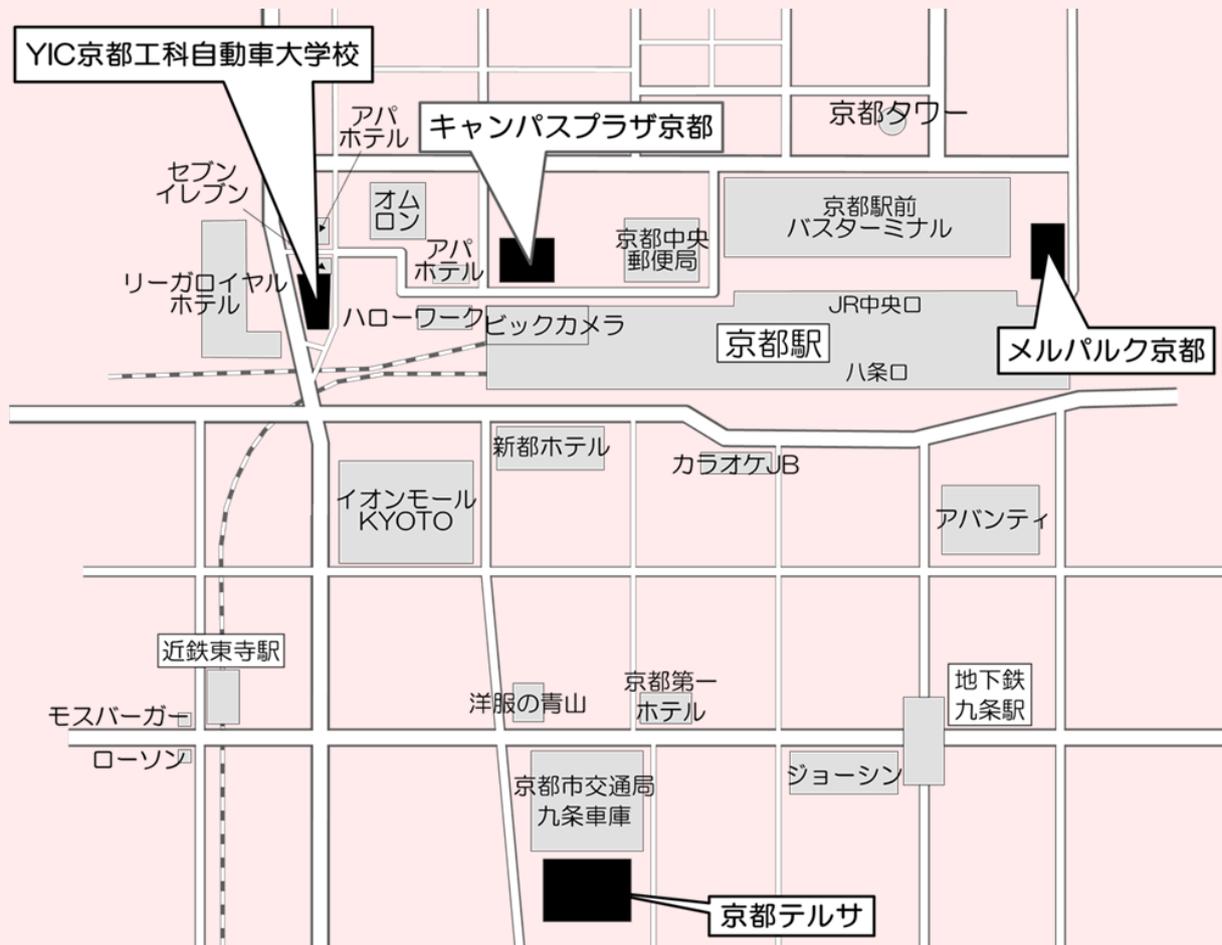
〒600-8236 京都府京都市下京区西油小路町27 【Tel】 075-371-4040

京都テルサ (JR 京都駅八条口西口より南へ徒歩約15分、近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分)

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府民総合交流プラザ内 【Tel】 075-692-3402

メルパルク京都 (JR 京都駅烏丸中央口より東へ徒歩約1分)

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13 【Tel】 075-352-7444



※上記いずれかの京都駅近辺の会場で行います。

※未定となっている会場は、決まり次第ホームページ <https://www.kippkyoto.org/>に掲載いたします。お申し込みをされた方には、e-mail、郵送等で通知いたします。

< 受講申込要領 >

対 象 臨床心理士、精神科医、その他の医療・教育・福祉等で心理臨床に関わっている方。または、それに関わる学生、大学院生。事例の守秘を守れる方。

申込方法

① 申込フォーム

左記 QR コードから、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。



② e-mail

同封の「申込用紙」を e-mail に添付、または必要事項を e-mail にご記載の上、お申込みください (必ず PC の e-mail アドレスをご記入ください)。受付後、振込先を e-mail にてお知らせするとともに、申込受付票を PDF にてお送りいたします。

③ Fax・郵送

同封の「申込用紙」に必要事項をご記入の上、お申込みください。受付後、振込用紙と申込受付票をお送り致します。

申込期限

シリーズ申込

第 1 回開始日の 2 週間前まで

セッションごとの申込

各セミナーの 2 週間前まで

※定員に達した場合は申込期限より早めに締め切ることがございます。

申込・問合せ

〒612-8083 京都市伏見区京町 4 丁目 156 番地 1 桃山ビル 3F

KIPP 桃山心理オフィス内 一般社団法人 京都精神分析心理療法研究所研修委員会

(Tel & Fax) 075-623-0823

(e-mail) info@kippsyoto.org

(HP) <https://www.kippsyoto.org/>

受講料

参加区分	6回シリーズ	セッションごと
一般	36,000 円	7,000 円
学生・修士卒業後 5 年以内	30,000 円	6,000 円

払込期限

セミナー当日 1 週間前までにお手続きください。

- 受講時、申込受付票(印刷したもの、携帯端末画面での表示)と振込時に発行される明細をお持ちください。引き換えに名札兼研修証明書をお渡しします。
- 一度納入いただきました受講料は原則として返金致しかねますので、あらかじめご了承下さい。

会場受付開始時間

講義開始時間の 15 分前より開始いたします。

* 本案内は、過去のセミナー参加者名簿の情報をもとにお送りしています。以後、案内送付を希望されない方は、恐れ入りますが事務局までご連絡ください。

* 案内の送付をご希望の方は事務局にご連絡いただければ案内送付リストに加えさせていただきます。